

8. 世界へ羽ばたくまち

(1) 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度

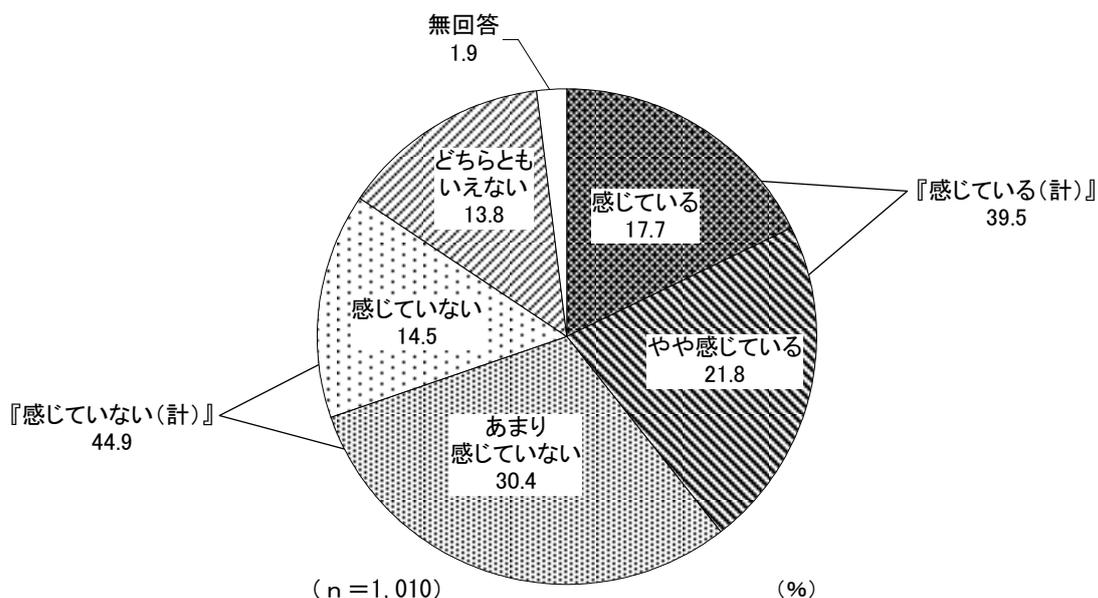
◇「感じている」と「やや感じている」を合わせた『感じている(計)』は4割

問14 羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じていますか。

(○は1つだけ)

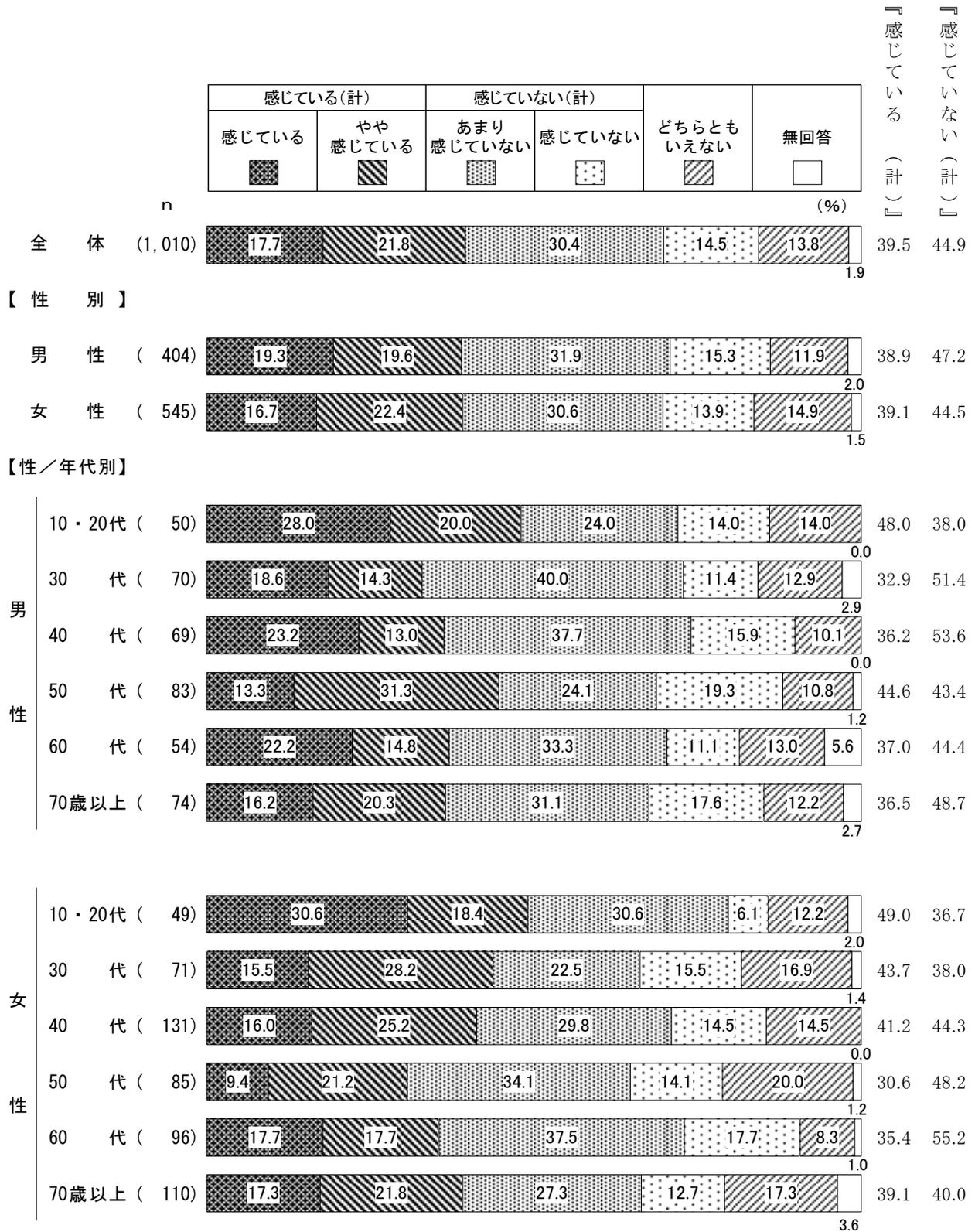
※羽田空港跡地第1ゾーンでは、「新産業創造・発信拠点」の形成を目指し、今年5月に産業交流施設やクールジャパン発信拠点施設などの整備・運営事業予定者を決定しました。また、基盤整備工事に着手しています。

図8-1-1



羽田空港及び羽田空港跡地が、地域経済の活性化に貢献すると感じているか聞いたところ、「感じている」(17.7%)と「やや感じている」(21.8%)を合わせた『感じている(計)』(39.5%)は4割となっている。一方、「あまり感じていない」(30.4%)と「感じていない」(14.5%)を合わせた『感じていない(計)』(44.9%)は4割半ばとなっている。(図8-1-1)

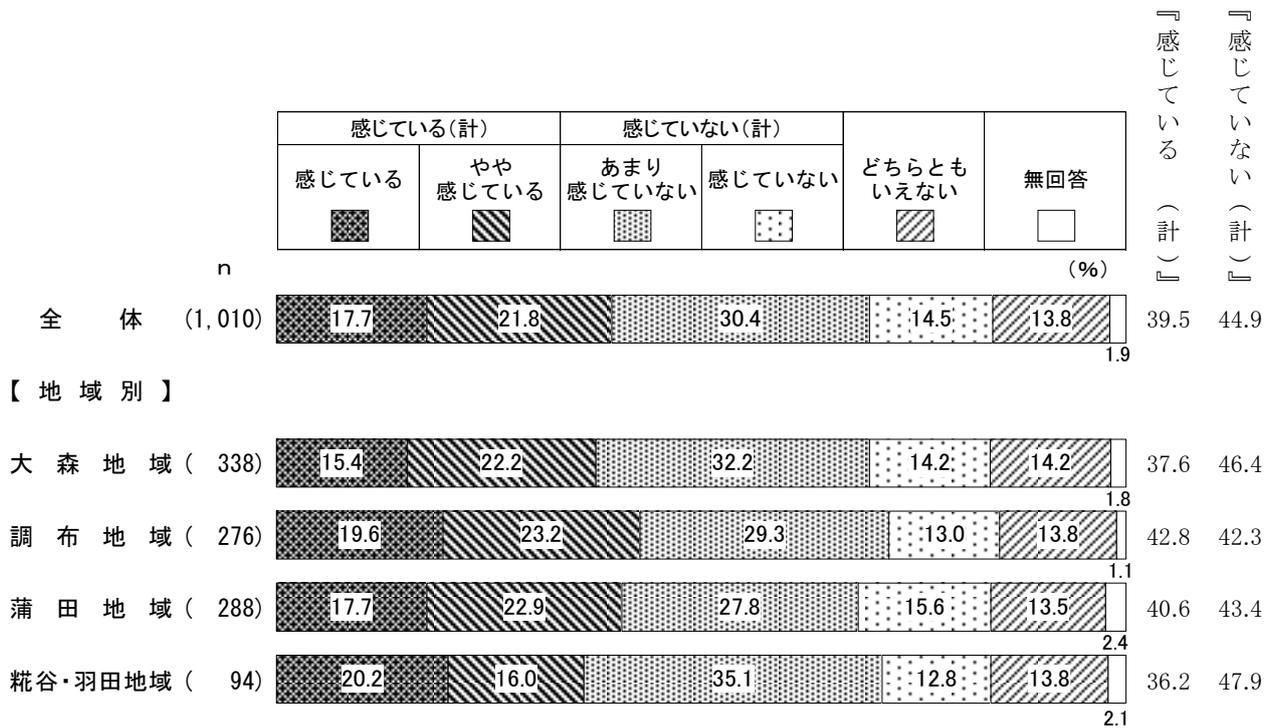
図8-1-2 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度—性／年代別



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年代別でみると、『感じている (計)』は女性10・20代 (49.0%) で約5割と高くなっている。一方、『感じていない (計)』は女性60代 (55.2%) と男性30代 (51.4%)、男性40代 (53.6%) で5割台と高くなっている。(図8-1-2)

図 8-1-3 羽田空港及び羽田空港跡地の地域経済活性化への貢献度—地域別



地域別でみると、『感じている(計)』は調布地域(42.8%)と蒲田地域(40.6%)で4割台と高くなっている。一方、『感じていない(計)』は糀谷・羽田地域(47.9%)で5割近くと高くなっている。(図8-1-3)

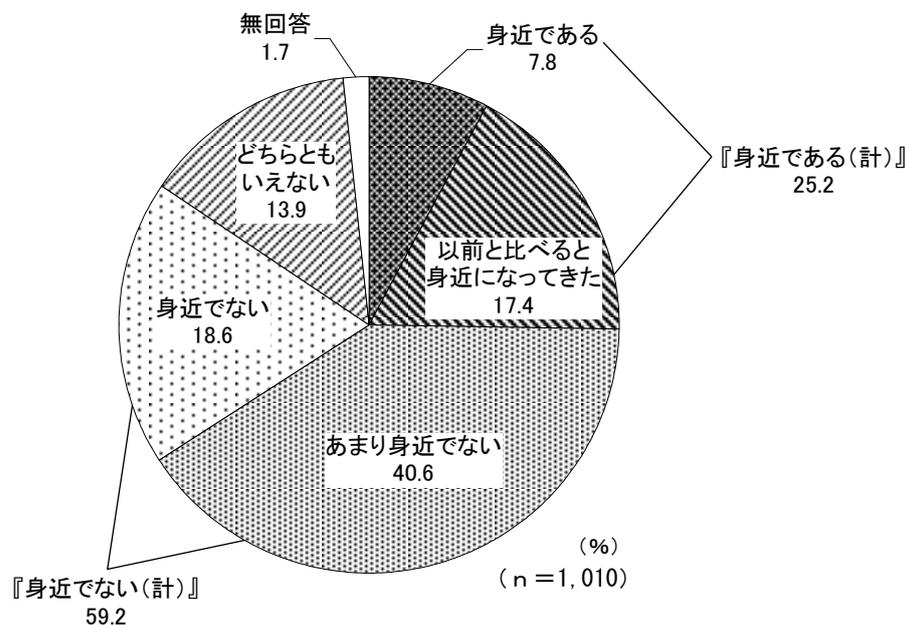
9. 未来につながる空港臨海部

(1) 空港臨海部が身近なまちとなってきたか

◇「身近である」と「以前と比べると身近になってきた」を合わせた『身近である(計)』は2割半ば

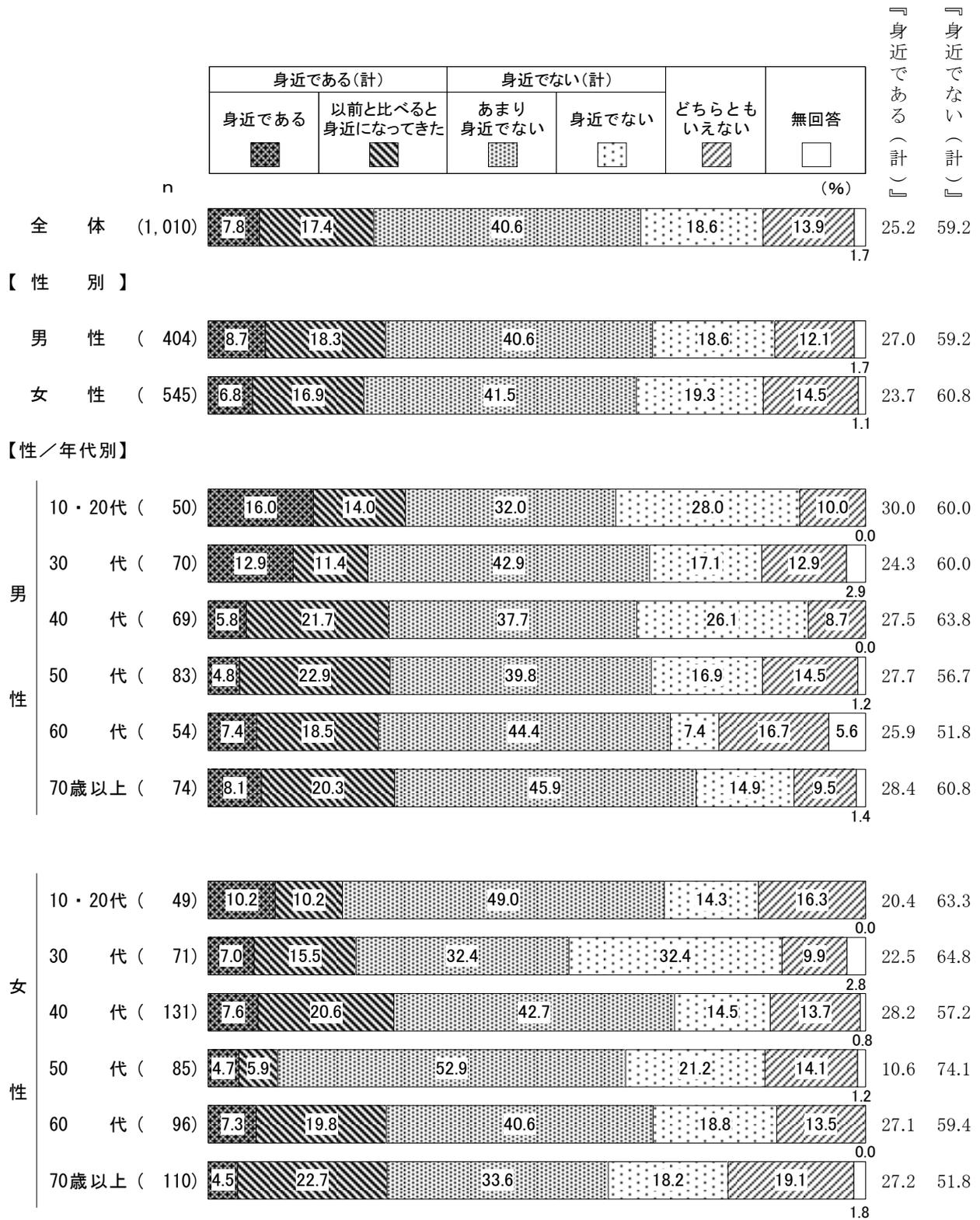
問15 埋立地の空港臨海部では羽田空港や港湾・物流施設、工場などが広がる中に、大森ふるさとの浜辺公園などの公園緑地や海辺の散策路の整備などが進められてきていますが、あなたにとって身近なまちとなってきましたか。(○は1つだけ)

図9-1-1



埋立地の空港臨海部が身近なまちとなってきたか聞いたところ、「身近である」(7.8%)と「以前と比べると身近になってきた」(17.4%)を合わせた『身近である(計)』(25.2%)は2割半ばとなっている。一方、「あまり身近でない」(40.6%)と「身近でない」(18.6%)を合わせた『身近でない(計)』(59.2%)は約6割となっている。(図9-1-1)

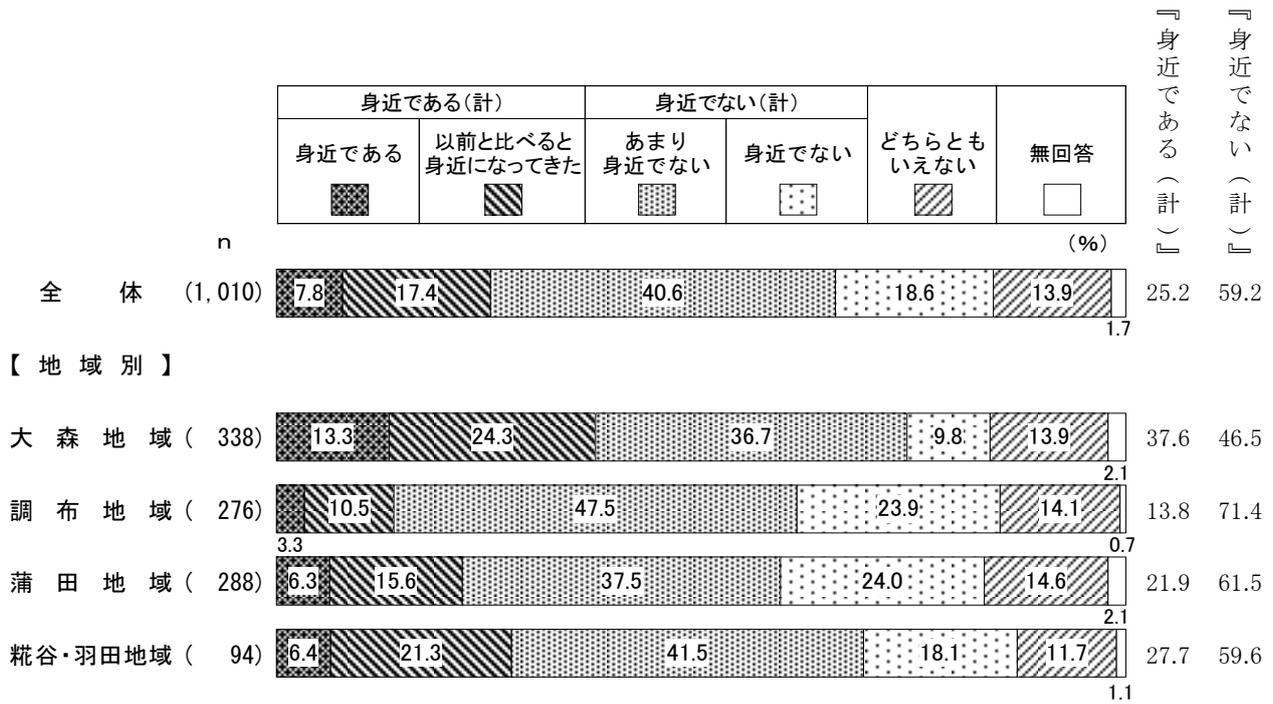
図9-1-2 空港臨海部が身近なまちとなってきたか—性／年代別



性別で見ると、『身近である(計)』は男性(27.0%)が女性(23.7%)より3.3ポイント高くなっている。

性／年代別で見ると、『身近である(計)』は男性10・20代(30.0%)で3割と高くなっている。一方、『身近でない(計)』は女性50代(74.1%)で7割半ばと高くなっている。(図9-1-2)

図9-1-3 空港臨海部が身近なまちとなってきたかー地域別



地域別で見ると、『身近である(計)』は大森地域(37.6%)で4割近くと高くなっている。一方、『身近でない(計)』は調布地域(71.4%)で7割を超え、蒲田地域(61.5%)と糀谷・羽田地域(59.6%)で6割前後と高くなっている。(図9-1-3)